



いわいずみ

シリーズ キラッと光る人 ③

いわいずみこども園で0歳児の担任をもつ吉田侑子^{ゆうこ}さん(24歳)です。福島県郡山市の出身で、地域おこし協力隊として4月に着任。お試しプログラム(2泊3日の滞在・体験)で移住を決意。子どもたちがかわいいと笑顔がはじけます。



P2 コロナ5類へ移行

わたしたちのやりたいこと

P6 2050年 CO₂の排出量実質ゼロに向け

P10 町の考えを問う(4議員が一般質問)

P14 どうなりゃんしたあの提言

規制が緩和され、岩泉球場でも3年ぶりに少年(学童)野球大会の開会式が開催され、2000人近い人が来場。議員も役員や審判員として参加し、大会を盛り上げてくれました。

議員の各行事への参加は心強く感じます。議会には、町が元気になる誘客対策をお願いします。



小林 幸平さん
(岩泉・75歳)

町が元気になる
誘客対策を願う



友達や地域と
交流し学びを

佐々木 公恵さん
(小本)

町内の行事は元に戻りつつあると感じています。私は、小本小学校に勤務していますが、子どもたちが社会から学ぶ機会も元に戻るといいなと思います。

活動が制約される期間が長く、これまで我慢してきた分、友達や地域の人と交流し、たくさん感じて学んでほしいです。

七頭舞発表会を
大成功させるぞ

金澤 凛さん
(小本・中2)



多くの学校行事が制限されて寂しく思っていました。中でも、お弁当の無い運動会はとてもショックでした。

日常生活に戻るのはいうれしく、夏休みには旅行に行きたいし、11月の七頭舞発表会は多くの皆さんに見てもらい、大成功を収めるのが目標です。



一本柳美空さん・山崎美月さん・山下茜音さん
(岩泉高校3年生)

高校生活ラスト
旅行に行きたい

中学校の修学旅行は、ディズニーランドに行けず、すごく悲しかったです。

高校生活も最後の年。卒業までに、家族や友達と思いっきり旅行に行きたいです。

子どもたちが
元気で活発に

三上 貴史さん
(小川小教員・38歳)



小規模校の良さで、学年関係なくみんなで遊んだり共同作業できていたのが、感染防止のために制限しなければならなかったことを子どもたちに申し訳なく思っていました。

各行事も平常に戻り、子どもたちには元気で活発に取り組んでほしいし、コロナ期の影響なく成長して行ってほしいです。

コロナ5類へ移行

わたしたちの
やりたいこと

5月8日、新型コロナウイルス感染症の法律上の位置付けが5類感染症に移行。これまでのような行動制限は求められなくなり、マスク着用などの感染対策は個人の判断になりました。

制限が緩和され、町の皆さんがやりたいこと、町や議会に望むことなどを聴きました。



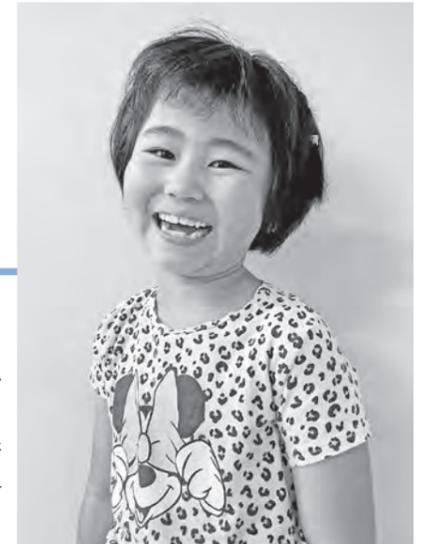
インタビュー
びーちゃん

去年は、6年生がいないチームを5年生が引っ張ってきました。6年生になって、6月の大会では県ベスト8になりました。

次の県大会では勝ち進んで、みんなで泊まりたいです。

お母さんと一緒に
遠足へ行きたいな

赤松 桃子ちゃん
(小川・6歳)



お友達の顔がちゃんと見えなかったり、息が苦しいから、ずっとマスクを付けているのが嫌でした。

コロナの時はお母さんと一緒に遠足に行けなかったのが、今度は一緒に行きたいです。



左から 工藤マシューくん、後藤惺南くん、内村陽来くん、狩野龍剛くん(左4人・岩泉小6年)、四垂琉晴くん(小川小6年)

大会を勝ち進んで、みんなで泊まりたい

おしえて ぴーちゃん

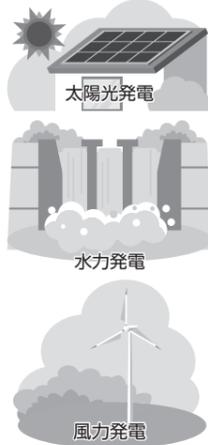


(※1) 再生可能エネルギーとは？

再生可能エネルギー（再エネ）とは、太陽光、水力、風力、地熱、バイオマスなど、地球資源の一部など自然界に常に存在するエネルギー。

特徴

- *枯渇しない
- *どこにでも存在する
- *二酸化炭素を排出しない（増やさない）



対義語：枯渇性エネルギー

石油、石炭、天然ガスなどの化石燃料、ウランを使用する原子力などのエネルギー。埋蔵量に限りがある。

(※2) CO₂排出量実質ゼロとは？

CO₂を全く排出しないという意味ではありません。

森林など植物が吸収する量を差し引きます。

「排出量を減らす」+「植林や森林管理などでCO₂の吸収量を増やす」取り組みが必要です。



どうしてCO₂の排出量ゼロを目指すの？

主な理由は2つ。

- ◆地球温暖化による気候変動を食い止めるため
- ◆化学燃料などの資源がなくなるため

地球温暖化による台風や洪水などの自然災害の被害が、世界中で拡大しています。地球温暖化の原因となる温室効果ガス（CO₂など）を削減する取り組みが世界全体で推進されています。

2050年 CO₂の排出量 実質ゼロに向け



役場分庁舎に設置されている太陽光パネル

町営住宅惣畑第1団地改修工事契約など可決

【工事契約】

▽工事名 町営住宅惣畑第1団地改修工事
金額 5,830万円
請負者 (株)西倉工務店

【財産の取得】

▽小型動力ポンプ付き積載車 2台
金額 2,574万円
契約の相手方 互光商事(株)
配備先 第5分団第2部、第7分団第2部1班



築28年の町営住宅惣畑第1団地

農業委員会委員 7人の任命同意

農業委員会委員の任期が7月19日をもって満了することに伴い、7人の委員を任命することに同意しました。

任期は3年間で、委員は次のとおりです。

合砂哲夫さん	(安家・67歳)
工藤幸雄さん	(下有芸・73歳)
三田地泰正さん	(岩泉・73歳)
早川ケン子さん	(袋綿・78歳)
武田健さん	(中里・64歳)
鎌田和美さん	(岩泉・42歳)
畠山利勝さん	(釜津田・62歳)

派遣職員のご紹介 ～応援に感謝～

復興庁 復興支援員 竹前雅子さん

社会福祉士の資格を持ち、子育て支援や総合相談など担当します。
(派遣期間：5月1日～6年3月31日)

地域でお困りのこと、生きづらさを感じている人のお力になればと思っています。



令和4年第1回定例会で中居健一町長が宣言した「2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ(※2)」。将来の世代も安心して暮らせる持続可能な経済社会をつくるため、再生可能エネルギーを最大限導入する推進計画を策定します。

内容は、基礎資料調査の実施など大きく3つです。これまで再生可能エネルギーの推進計画は無く、今回の計画策定で本格的に推進していく考えです。

委託事業者の選定方法は、プロポーザル方式(提案書を提出させ最適な提案者を選ぶ)を予定。7月から12月までの委託で、事業費は1055万5千円。

【関連9ページ】



会議録

再生可能エネルギー 計画策定で本格推進

定例会のあらまし

5年第2回定例会は、6月8日から13日まで6日間の会期で開かれました。8日には、一般質問が行われ4人の議員が登壇しました(質問の内容などは10ページから12ページまで)。任期満了となる農業委員会委員7人の任命に同意。2050年二酸化炭素(CO₂)排出量実質ゼロに向け、再生可能エネルギー(※1)推進計画を策定するための補正など9議案を全て全会一致で可決しました。

再エネ推進の内容

◆基礎資料調査の実施
地域の特性や消費エネルギー量の把握

◆意向調査の実施
脱炭素に向けた住民や事業所などへの意向調査

◆二酸化炭素排出量の推計、将来目標の設定を検討

2050年脱炭素への将来設計、推計シナリオの検討、検討委員会の開催

次は、女性専用施設を整備

消防署

女性専用施設を整備
5年度設計、6年度に増築予定



宮古消防署で活躍する本町小川出身の上家利菜消防士

条例補正予算審査特別委員会（三田地和彦委員長）は6月13日、付託された条例3件、補正予算3件を審査しました。岩泉消防署に女性専用施設を増築整備するための設計業務委託料の増額補正など全ての議案を可決すべきものと決定。同日の本会議において、全会一致で可決しました。ここでは、特別委員会の審査の中からいくつかの内容を要約してお伝えします。

防災
改修で勤務できる人数は
女性消防士が最大で3人

問 女性専用の施設庁舎改修の設計費が計上されている。工事費も含めるとどの程度になるか。
答 岩泉消防署の建物内部の改修は困難とのことで増築の方向で検討してきた。令和6年度の建設工事に向けて、今回の補正で設計委託210万円を計上。実施設計も含め約2600万円の見積もりである。

問 改修により女性消防士が何人勤務できるようになるか。
答 最大で女性職員3人勤務可能となる。
問 職員の定数は女性3人が配置になっても変わらないか。
答 定数は変わらない。

ますの声 あらゆる分野で女性の活躍期待
消防士のみならずあらゆる分野での女性の活躍が期待されると思います。これを機に、性別に関係なく消防団の新入団員が増えてくれるといいですね。
三浦美渚湖さん（小本）
轟土くん・想太くん・柚花ちゃん（8歳・10歳・5歳）
つぎお 二勇さん（大川・70歳）

議決された議案の一覧は町のホームページで確認できます。

商工
販売開始を早められないか
予約方式のため8月以降に



希望者全員が購入できるよう予約方式になります

問 町内消費購買拡大事業（龍ちゃんプレミアム商品券）は町民が望んでいる。販売開始を7月からに早められないか。
答 希望者が全員購入できるように予約方式での販売を考えている。7月中旬まで申し込みを受け付け、その後引換券を郵送し、8月1日以降に商品券と引き換えとなる手順である。

問 1人何セットまで購入可能か。
答 1セットが1万2千円分を1万円円で販売。1人につき5セットまでと考え、案内・周知していく。

ますの声 商品券の発行は毎年してほしい
大型店が進出して、価格や品ぞろえなどでは対抗できません。龍ちゃん商品券が発行されると売り上げは確実に伸びます。毎年実施してもらいたいです。
八重樫教子さん（岩泉）

環境
再エネ計画の目標は
環境と経済面に波及

問 再生可能エネルギー推進事業の委託業者は。
答 プロポーザル方式（目的物に対する企画提案書を提出させる）を採用する。実績があり、経験値や将来的な推計など構想の提案ができる業者を選定したい。

問 グリーン社会（※1）の実現に向けて、町としては具体的にどのような取り組みをとっているのか。
答 再生可能エネルギー事業を地域でできないか。環境分野を守りながら、二酸化炭素排出権（※2）が町の利益にならないかを含めて計画していきたい。

観光
参加料無料にできないか
旅行商品化が目的で有料

ますの声 親子で学習参加したい
自然の中で遊ぶことはあっても、生き物を捕まえて色々調べるといった機会はなかなかありません。しかも親子で学習できるなら参加してみたいですね。
三浦美渚湖さん（小本）
轟土くん・想太くん・柚花ちゃん（8歳・10歳・5歳）

問 最終的に発電など出す業者はどこを想定しているか。
答 地産地消という部分で、町内で作り出したエネルギーを町民に分けていく、地域新電力のような形をできないか。

※1）環境負荷の低減と経済成長の両立する社会
※2）温室効果ガス（CO2など）の排出量を抑制するため、企業などにCO2排出量の上限枠（排出権）を割り当て、上限より少なかった企業は、上限を超過した企業に対し排出権の余剰分を売ることができる制度
※3）環境省が選定し地域の特性に合わせて脱炭素社会の実現に向けて先行的に実現をしていく地域。

次は、町の考えを問う

一般質問

町の考えを問う

一般質問とは、議員が町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて所信や疑問をたずねること。報告や説明を求めることです。6月定例会では4人の議員が登壇し、町政課題への提言や質問を行いました。
ここでは、質問と答弁を要約した内容（10ページから12ページ）を登壇順（質問順）にお知らせします。



一般質問全文は、町ホームページで公開しています。



坂本 昇 議員 (10ページ)
◆ 協力隊の活動報告を
その他の質問
* 教育長の所信

千葉 泰彦 議員 (11ページ)
◆ 2次3次産業の地消地産は
その他の質問
* コミュニティ・スクールの運営

林崎竟次郎 議員 (11ページ)
◆ 給食費の無償化を
その他の質問
* 中小事業者への支援 * 農林漁業者への支援

畠山 和英 議員 (12ページ)
◆ 教育振興施策をどう描く
その他の質問
* 教育長の教育行政基本方針 * 町教育行政課題への対応
* 歴史民俗資料館の役割 * 岩泉高校で山村留学の実施

問 2次3次産業の地消地産は
答 経済団体とも連携し進める

問 2次・3次産業は、生産年齢人口（※1）若年層の受け皿。その地消地産策は。
町長 地域経済で生産された付加価値が、地域内で消費や投資へと循環する仕組みづくりを、町内経済団体と連携し進める。



復興事業も終盤。新たな事業機会の創出が必要

問 町の予算のどれ位が町内事業者の仕事か。
町長 3年度決算で義務的経費（※2）と基金積立金などを除く支出総額は56億円。うち53%、29億8千万円が町内事業者向けである。

問 岩泉ホールディングス(株)は昨年度年間売
り上げ20億円を達成。町内経済への波及効果と成長戦略は。
町長 売り上げ原価14億円のうち6億2千万円が町内への経済効果。雇用者数は112人で人件費3億9千万円。今後も地域資源の活用と6次産業化に取り組む。



千葉 泰彦 議員
一般質問・答弁
全文はこちらから



17文字のひとりごと
使うなら
町のお金は
町内で

問 協力隊の活動報告を
答 対面方式で行いたい

問 地域おこし協力隊の活動状況を町民に知らせるべきと考えるがどうか。
町長 3年2月に活動報告会を開催。その後、コロナ禍で広報やウェブサイトの紹介に変更した。コロナが5類へ移行したことから、



町民へ活動の紹介を（3年2月報告会の様子）

問 隊員の定住化に向けた支援の取り組みは。
町長 移住コーディネーターがサポートし、空き家・空き地バンクや町営住宅を活用するなど支援を行っている。

問 隊員が活動を通して気付いた意見を活用すべきと思うがどうか。
町長 毎月の個別面談や情報共有ミーティングなどで意見交換しており、外部目線でのさまざまな提言を今後の施策立案に取り入れていきたい。



坂本 昇 議員
一般質問・答弁
全文はこちらから

17文字のひとりごと
定住化
生かせ人材
協力隊



林崎竟次郎 議員
一般質問・答弁
全文はこちらから

17文字のひとりごと
無償化で
絆深まる
食の時

問 給食費の無償化を
答 引き続き検討する

問 物価高騰や電気料金の値上げによる、子育て世帯への影響は計り知れない。
宮古市でも4月から

小中学校の給食費を完全無償化。宮古下閉伊地区で有料は本町のみで、無償化へスピードアップが必要だと考え



給食費の無償化をスピードアップで

物価高騰が続く社会情勢の中で、小中学校の給食費の無償化は、子育て世帯の経済的負担の軽減となる。少子化対策や移住定住の促進など、町の重要課題である人口減少対策に資する支援策の一つである。引き続き給食費の無償化に向けた検討を進めていく。

(※1) 生産活動の中心となる年齢層の人口のことで、日本では15～64歳の人口が該当する。(※2) 歳出のうち、その支出が義務づけられ、簡単に削減することができない経費：人件費、扶助費、公債費

問 教育振興施策をどう描く

答 自然環境教育に力を注ぐ

問 教育長は教育振興施策をどう描くか。

教育長 学校教育では、自然・環境教育と地域学習に力を注ぐ。成人教育・生涯学習でも自然や歴史、文化を再発見しながら、子どもたちが岩泉を愛せる取り組みを推進していく。

問 本町は森林・林業の町。森林環境教育を推進してはどうか。

教育長 森林とのふれあい・林業体験学習の導入は、実施している学校など中心に引き続き支援していく。全校での実施は、現況把握を行い今後の展開を考えていく。

問 町独自の給食費無償化を考える時期ではないか。

教育長 給食費無償化は、学校給食法の趣旨や町の財政状況を鑑み慎重に検討を進めてきた。経済的負担の軽減、少子化・人口減少対策の一つとなる。引き続き検討を進めていく。



森林環境教育の推進を
(釜津田小：自然森林愛護少年団)



畠山 和英議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



褒岩教育長の 考えを問う。

6月定例会の一般質問では、4月に着任した褒岩千裕教育長へ質問が集中しました。ここでは、議員の質問に対する答弁を要約してお伝えします。

楽しく、たくましく 成長できる環境整備

第一に、自然豊かなこの岩泉町で、明るく元気で素直に育っている児童生徒一人一人が楽しく学び、心身ともにたくましい人間として成長することができるよう、教育環境の整備・充実に取り組んでいきたい。

教育委員会事務局の 働き方改革を進める

まずは「岩泉町未来づくりプラン」や「岩

泉町教育振興基本計画」に掲げる施策を着実に推進する。併せて、学校現場をサポートする教育委員会事務局内の働き方改革を進めたい。

職員が余裕を持って楽しく仕事できる職場環境にしていくことが、学校や町民へのきめ細かな対応につながる。さらには、学校が子ども一人一人を大切に指導していくことや町の皆さんの幸せにつながっていくと考える。小さな見直しから改善を積み重ねていき

不登校やいじめ対応 関係機関が連携強化

学校教育は、学力の向上はもとより、不登校対策やいじめなどに対応するため、学校と家庭、関係機関が連携した取り組みを進める。地域に開かれた学校となるよう、引き続き

コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の取り組みの充実、PTA連合会や学校保健会などの連携を強化していく。

変化の激しい社会 生き抜く力を育む

予測が難しく、変化の激しいこれからの社会に適合し、生き抜いていかなければならない児童生徒一人一人が、将来の夢や目標を達成することができる力を育む教育を推進していく。

町の教育振興基本目標である「一人一人が学び、郷土を愛する、心豊かでたくましい人づくり」の具現化に向けて、一歩一歩着実に取り組んでいきたい。

傍聴者の声



やたがわまさき
谷田川雅基さん
(小川・31歳)
谷田川さんは5年4月から地域おこし協力隊として活動しています。

6月定例会の傍聴者は延べ6人でした。傍聴された谷田川さんから感想や議会・町に対する声を聴きました。

協力隊の活動に 生かすため傍聴

―傍聴のきっかけは

今、町の中でどんな問題があり、どのように対処するのか。そういった情報を得て、地域おこし協力隊の活動に生かしたいと思いました。

―傍聴した感想は

緊張感のある中で議論されていて、とても勉強になりました。町と議会の情報発信の場でもあると思うので、もっと多くの町民が傍聴するべきだと思います。

―議会や町政に対する要望はありますか

多くの人がさまざまなお悩みを抱えていると思います。町の皆さんに寄り添い、声が伝わる議会であってほしいです。

―地域おこし協力隊としての抱負は

地域住民の皆さんと深く関わり、広く地域おこしができたらと思っています。鳥獣被害の軽減やジビエにも興味があり、資格取得を目指しています。

皆さんも傍聴にいらしてください。



ほろいわ ちひろ
褒岩 千裕 教育長

プロフィール
1954年岩泉町出身。80年青山学院大文学部教育学科卒業。83年九戸村立伊保内小学校教諭。町村教育委員会社会教育主事、教育事務所、教頭、校長などを歴任。2022年10月岩泉町地域おこし協力隊を経て23年4月から教育長



毎朝、岩泉小の正門前で子どもたちを迎える教育長

次は、どうなりやんした...あの提言

こども園

保育料の無償化を 5年7月から無償

質問のその後

どうなったか... あの提言

議員が行う質問や提言が、町政にどう反映されているのか。これまでの質問などから一部を取り上げ、その後どうなったか追跡します。




保育料の完全無償化で子育てをバックアップ

令和5年第1回定例会
【一般質問】

問 保育料などを完全無償化し、町内外に「子育てに全力で取り組む町」としてアピールすべきだ。

答 保育料の無償化や在宅育児世帯の支援（※次頁）も検討し、子育て環境を充実させるよう取り組む。

*3歳以上児の保育料は、令和元年10月から国の制度で無償化されています。
0歳児から2歳児までの保育料は、こども園を利用する子どもの人数が複数の場合や住民税非課税世帯などは軽減されてきました。

令和5年第2回定例会
【条例改正】

5年7月から町立認定こども園の保育料（0歳児から2歳児まで）を無償化する条例改正案を全会一致で可決しました。
すべての子どもの保育料が無償となります。

※特別保育（休日保育、預かり保育、時間外保育、延長保育、一時保育）利用の保育料はかかりません。



小原 百恵さん
(岩泉・36歳)
紗季ちゃん(7歳)
紗奈ちゃん(4歳)

ますの声 家計の経費削減で安心
保育料の無償化を初めて聞きました。家計の経費が軽減され、より安心して子育てができます。町にはたくさんの子育て支援があり感謝しています。



保育料の無償化

在宅保育

在宅子育てを支援 児童1人に月1万円

6月定例会では、保育料の無償化のほか、いくつかの子育て支援策を可決しました。主なものをお知らせします。

在宅で子育てを行う世帯の経済的な負担を軽減し、子どもを安心して産み育てることができるよう多様な保育環境をつくるため、在宅子育て支援金を支給します。

***支給方法**
年3回・各4カ月分
育児休業給付金（公務員は育児休業手当金）を受給している期間を除きます。

- *支給対象者(7月)**
- ①町内に住所を有する（住民登録をしている）こと。
 - ②生後8週間を超える未就学の児童を養育していること。
 - ③こども園を利用していないこと。
 - ④生活保護を受給していないこと。

***給付の額**
児童1人につき月額1万円



ますの声 在宅の支援はとても助かります。子育てはいろいろ出費がかさむので、月1万円の支援は大切にに使わせていただきます。

卯名根口加奈子さん
咲絢ちゃん
(豊綿・31歳、1歳)

給食費

高騰する食材 一部を公費で



栄養を満たした給食の提供を

物価高騰の影響を受けている学校給食用食材の一部を公費で購入。栄養・質・量を満たした安全安心な学校給食を提供し、給食費の増額抑制で保護者の負担を軽減する。

学校給食費 1食あたり

区分	給食費	増加額
小学生	260円	33円
中学生	290円	37円
高校生	260円	33円

ここを公費で

ますの声 給食費の負担は家計に響きます
4人の子どもを育てています。給食費の負担は結構家計に響きます。物価高騰に対応した給食食材の支援はとても助かります。

川原 明子さん
(尼額・37歳)

医療費助成

現物給付を 18歳まで拡大

医療費助成の現物給付の対象を、8月から高校生などまで拡大します。
現物給付とは、医療機関を受診した際、世帯の所得に応じた受給者負担額のみ支払えば診察や治療、投薬などのサービスを受けられるものです。
これまで高校生などは、医療保険での自己負担額を一旦支払い、2、3カ月後に町から払い戻しされていた（償還払い）。

ますの声 立て替え不要 手間が省ける
医療費の立て替えが不要になり、手間が省け助かります。もう少し早ければなど...
特に高校生は、他の費用もかかるので、健康に気を付けて過ごしてほしいです。

三上加那子さん
(二升石・44歳)

受給者証が変わります
5年8月1日～



詳しくは、役場町民課国保年金室 ☎22-2111 内線 224・ピー☎00-0224へお問い合わせください。

行政視察の受け入れ

広報広聴常任委員会

5月17日に、遠野市議会の広報広聴常任委員会の皆さんが行政視察に来町されました。

読まれる議会だよりにするために、住民への取材方法や工夫する点など活発な質疑応答になりました。



本年度初の視察受け入れ



元岩泉町議会議長
かとう きゅうみん
加藤 久民 氏 (71歳)

加藤氏は平成13年4月に初当選以来、5期20年にわたり議員を務め、議長、産業常任委員長などを歴任。「開かれた議会」の実現を目指し議会基本条例の制定に尽力。長年の功績が称えられ旭日双光章を受章されました。

令和5年 春の叙勲
祝 旭日双光章

議員と語る会を開催

～10月・11月に6地区と分野別で～

議員と町の皆さんとの意見交換会を、町内6地区と分野別で10月・11月に開催する予定です。

議員が地域に出向き、議会活動の報告と決算の概要など説明します。議会に対する意見、町政に対する提言など、皆さんの貴重なご意見を聴かせてください。

※都合により変更する場合があります。

議会を傍聴しませんか

次の定例会は、

- 9月 13日(水) 本会議・一般質問
- 15日(金) 一般質問
- 19日(火) 条例補正予算審査本会議
- 20日(水) 決算審査
- 21日(木) 決算審査
- 22日(金) 決算審査・本会議

の予定です。

※都合により変更となる場合があります。

議員は何してんのや

議員や議会は何をしているの?という声を聞きます。ここでは、議会や議員の主な活動状況をお知らせします。(全日程はQRコードで)



議会の動き

4月

- 3日 辞令交付式 (役場)
- 26日 議会運営委員会 (役場) 第1回臨時会 (議会議事堂) 議員会議 (役場)

5月

- 5日 龍泉洞安全祈願祭 (町内)
- 10日 三陸北部縦貫道路整備促進期成同盟会総会 (久慈市)
- 23日 全国町村議会議長会議長・副議長研修会 (東京都) 宮古広域圏地域情報交換会 (宮古市)
- 26日 岩泉商工会通常総会 (町内)

6月

- 4日 全国植樹祭 (陸前高田市)
- 5日 議会運営委員会 (役場)
- 8日 第2回定例会 (議会議事堂)
- 13日 条例補正予算審査特別委員会 (役場) 本会議 (議会議事堂)
- 18日 岩泉町消防団消防演習 (町内)

編集後記

▽6月定例会の補正予算で新規事業を8つ可決。コロナ禍と同時進行した物価高騰・経済振興対策も盛り込まれています▽本号では「コロナ」を特集し、コロナ政策を点検、総括。一方で、町の皆さまからは、コロナ禍でのご苦労、今後への期待など、さまざまなお話を伺いました。コロナは5類へ移行しましたが、この傷が癒えるにはまだ時間が必要です▽議員と語る会の準備を進めています。今後も皆さまの声を町政に反映させるために委員会として取り組みます。

広報広聴常任委員長
千葉 泰彦

広報広聴常任委員会

委員長	千葉 泰彦
副委員長	佐藤 安美
委員	八重樫 龍介
	坂本 昇
	島山 和英
	島山 昌典



古紙のリサイクルに取り組むオフィス町内会と、森林の再生に取り組む岩手県岩泉町との連携により実現した「森の町内会一岡伐に寄与した紙」を使用しています。

